

2015年10月9日(金)

# 未来への扉



高等特別支援学校 支援部 第74号

## 分かりやすい目標とほめ言葉の支援

第73号のA君再登場です。A君には課題が4つありました。

- ①気温に合わせた服装の調節
- ②前向き（ポジティブ）に行動する
- ③全体への指示を理解する
- ④突然の大きな音でも平常心でいること

①は前号でお話ししました。

本校生は、体温計の目盛りを読むことができますし、周囲が長袖半袖のどちらが多いかだいたい統計を探ることもできます。実際に気温変化を体感しなくても、こういった他の手持ちの力を使って①をカバーする自己支援を意識するようにしました。

今回は②についてお話します。

A君は真面目な生徒です。しかし、なぜか行動が前向きでなく見えてしまう事を残念に思っていました。

保護者の方も「そうなんですよ。家でも妹の世話もしてくれるし、頼めば掃除も畑仕事も本当によくやってくれるんですが。」担任と保護者で頭をひねって話し合い、2つの原因が思い当たりました。

ひとつ目は、A君はちょっと困ったような表情をよくすること。二つ目は語尾に「～けど。」を付けることがクセになっていることです。

「A君は窓ふきをお願いね。」「いいですけど。」と言われると、「～けど。」の後には何かネガティブな気持ちをこちらは想像してしまいます。でも、今考えると不安傾向がある生徒だったので「いいですけど、キレイにできるか自信がありません。」といった意味合いが強かったのだと思います。ただ、そのクセが返事のパターンとして定着してしまっていたので、せっかく真面目に素直に行動する生徒なのにもったいない。

表情より返事のほうが目標として分かりやすいだろうということで、1学期末の個人懇談で話し合った2学期の目標は「『～けど。』と言わない」としました。

次はA君との面談です。

「A君の目標についてお母さんと一生懸命相談したから、よく聞いてね。A君、お家では妹さんのお世話をしたり、畑仕事もよくしてくれるってお母さんほめてはったよ。学校でもよく動いてくれるよね。……本当の気持ちは？イヤだけど、言われたからしているの？めんどくさいって思う？」

「そんな事ないです。」

「やっぱりね。でも、いやいやしてるように見えるなあ。」

「そうなんですか？」

「A君はよく『できましたけど。』とか『いいですけど。』っていう言葉がクセになっているでしょう。その言葉のせいかなどと思いますよ。例えば、『できましたけど。』だったら何て言ったらいいと思う？」

「できました。」

「そうそう。そう言い換えていくことを2学期の目標にしたいのだけれど、がんばれそう？」

それからは真面目なA君の本領発揮です。

最初は苦労していたのですが、ぴたっと「～けど。」を使わなくなりました。担任も保護者も大絶賛です。

「すごいすごいA君！先生、目標をこんなに早くできるようになった生徒初めて見たよー。がんばってるよねー。」

同じようにお家でもほめられているようです。連絡帳にも「今までもよくお手伝いしてくれましたが、気持ちよくやってくれる事が伝わってきて私も嬉しいです。」ほめ上手なお母さんでした。わが子に面と向かってほめる事はなかなか照れることですが、担任に向けての報告ではハードルが低くなります。提出前にここに連絡帳を見ているA君をよく見かけようになりました。

2学期が終わる頃には不思議と表情も気にならなくなり、A君は前向きな働き者となっていました。

この②の例は単に**解決方法を分かりやすく目標化**するだけで、本人の**努力**と保護者の**ほめ言葉の支援**でクリアすることができました。モチベーションが続くことが大事ですよ。

## うちの先生♪ K.H先生

＜◆ゴシック、(ゴシック)はレポーター＞

☆総務部長のK.H先生にお話しを聞いてみました☆

◆突然ですがK.H先生ってお坊さんなんですか？

突然ですね(笑) そうですよ。(いつからですか?) 生まれたときからですよ。(あ、確かに。)

高特を通り過ぎて奥へと進むとR寺というお寺があり、そこが自宅です。(R寺と言えば本校生が実習でお世話になっているお寺さんですよ) そうそう。実習に来てもらうと助かります。

何しろ境内や本堂は広いですからね、そうじなどはとても大変なのですがみんなできれいにしてくれるのでとても助かります。

◆お経はいくつくらい覚えていらっしゃるのですか？

お経は覚えてはいけません。経本を読みながらあげるものなんですよ。(へえ～そういうものなんですか。) といえだいたい覚えてしまいますけどね。私は子どものころからお寺の手伝いをしたかったのですがさせてもらえず、大学生になってやっとお盆のお参りなどに連れて行ってもらうようになりました。

◆大学生時代と言えばサークルなどはされていたのですか？

はい。ただ…自分が望んだわけではないのです、つかまってしまったのです、応援団に。(応援団って裾の長い学ランを着て“フレイフレイ！”ですか?) それです。当時はもう少し余裕も良かったんですが向いてはいませんでしたね。(照)

◆先生の趣味は何ですか？

今はしていませんがスキーとウインドサーフィン。車が好きでこだわりを持っています。(落ち着いた印象だったので意外です!) 以前は今とは違う髪型でしたしね。(どのようなの?) “石田純一”っぽい!? (あ、似ていますね! プレイボーイだったんですか?) それは秘密です(笑) それはそうと昨年くらいから顔の赤みがひかなくなったんですよ、皮膚炎の一種なんですけどね。そしたら授業に行くたびに生徒が「朝から飲んで来たやろう」とツッコんでくれるんですよ。私そんなことはしませんからね。ここで改めてみなさんに『私は朝からお酒を飲んではいけませんよ～◎』今後ともよろしくお願ひします!

